

## 研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学 病理学教室

### 記

研究の名称	免疫組織化学染色および特殊染色の精度管理の検討
対象	2010年1月1日から2024年4月30日までの期間に組織診断・細胞診断・剖検を実施した患者さんの既存のパラフィンブロックや残余検体を研究に利用いたします。100例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2029年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：免疫組織化学染色は現在の病理診断に必須で、様々な抗体を用い、その発現パターンで診断を行っています。正確な診断には、様々な抗体が正しく機能しているかどうか(偽陽性・偽陰性がない)の精度管理が非常に重要です。また、様々な物質の存在を認識する特殊染色についても精度管理が極めて重要です。病理診断・細胞診断や剖検で得られた既存のパラフィンブロックや診断済の残余検体を用い、免疫組織化学染色や特殊染色の効率的な陽性・陰性コントロールを作成することを目的としています。</p> <p>利用方法：患者さんの病理診断に用いた既存のHE標本やパラフィンブロック、細胞診断に用いた既存の細胞診標本および診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p>

<b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b>	試料：既存のパラフィンブロックおよび残余検体 情報：検査データ、診療記録等
<b>利益相反について</b>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<b>研究者名</b>  <b>【研究責任（代表）者】</b>	
大阪医科薬科大学 病理学	講師 石田 光明
<b>参加拒否の申し出について</b>	<p>ご自身の既存のパラフィンブロック、残余検体や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先まで研究参加拒否書の提出をお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>
<b>問い合わせ窓口</b>	
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号	
大阪医科薬科大学 病理学教室	
担当者	石田 光明
連絡先	072-683-1221（代） 内線 54021

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
研究責任者 石田 光明 殿

研究の名称	免疫組織化学染色および特殊染色の精度管理の検討
-------	-------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）